

第28号
平成23年3月



もう一つの道

情報は、うのみにせず、注意深く徐々に試して下さい。

山田整骨院
熊本市出水4-25-1
096-364-7611
<http://yamadasu.com/>
E-mail:yamadasu@opal.ocn.ne.jp

追悼 渡辺正先生

渡辺正先生は昨年12月28日に逝去され、1月29日東京中野で告別式が催され、同学の士、指導を受けた者、元患者さん等多数の人が全国より参列し、別れを惜しましました。

渡辺先生は昭和20年北大医学部卒、終戦の混乱の中、思想家として尊敬していた石原莞爾元陸軍中將の元を訪ね、今後の日本のあり方と共に西勝造先生の西医学を教示されました。その後病院勤務の傍ら西医学の研究を進め、病院の結核患者に西医学の生野菜食療法で著効を挙げ感謝されたのですが、現代医学と西医学の併用、両立は困難で、昭和29年病院を退職し、山形県の農村地帯で開業し、西医学を実践しました。白米の大食、バランスを欠く副食、過労等のため胃腸病、肝臓病、高血圧、脳いっ血、リウマチの患者がたくさんいました。そこで西医学の朝食廃止の二食主義、生の清水の飲用、六大法則の実行、温冷浴等の実行を指導しました。「朝五時から起きて働く農民が朝食廃止の二食でやってゆけるものではない」と二食主義に反対していた農家の人達も、実行した結果は、朝食廃止で十分働けること、しかも、永年の胃腸病や神経痛やリウマチが治ることが分かり、普及に進んで協力するようになりました。

昭和32年西勝造先生の勧めもあり、東京中野で渡辺医院を開業しました。以来、日本全国は勿論、アメリカ、南米等から、いろいろ難病の患者さんが来院しました。癌、中風、心臓病、リウマチ、糖尿病、腎臓病、その他、眼科、耳鼻科、婦人科、産科等々。現代医学は専門科に分かれています。西医学は生体一者として捉え、全ての病気は基本的に治す方法は同じです。

昭和38年2ヶ月間に亘り、アメリカ本土及びハワイで講演と講習の旅を行い、好評を博し多くの反響がありました。

山田道夫がお世話になったこと

昭和60年に7日間の西医学の断食を経験して以来、西医学を世に広めたいと思い、そのために整骨を業としようと思ひ、昭和62年4月東京柔道整復専門学校に入學しました。上京してすぐ渡辺医院を見学しました。見学後、渡辺医院で勤務できれば、

西医学を実地に研修できると閃き、早速数日後渡辺先生に「雇ってください」とお願いしました。しかし、当然のごとく断われました。何度断られても承諾を得る迄通おうと決心し、断われても断われてもお願いに上がりました。7度か8度めかの後、電話がかかってきて、じゃあ来るかと言われ研修勤務が決まりました。渡辺医院には、癌、リウマチ、アトピー性皮膚炎、脳卒中後遺症、交通事故後遺症、腎臓病、白血病、等々の病院で見放された難病の患者さんが入院していました。一度、手首の骨折の患者さんが来て、翌日から副木をして毛管運動が行なわれたのを見たときは、心底驚きました。何故なら現代医学の常識では受傷直後は安静なので。断食や生菜食療法、温冷浴を行い、その患者さんは通常の半分の期間で、リハビリの必要もなく、きれいに治って退院しました。渡辺医院では入院患者さんと同じ食事が職員にも提供され、私も日中働き夜学校へ行く生活は健康面に不安がありましたが、食事を出して貰ったり、温冷浴をさせて貰ったりして、退職するときは却って健康になりました。多くの患者さんに実際に接して病態や治療状況を体験し、当直の際に所蔵の西医学の書籍・雑誌を読んで知識を深め、又渡辺医院に関係する色々な人達と関わり合いを持つことが出来て、本当に渡辺先生にはお世話になりました。合掌。

西式の指導者の他界された状況

渡辺先生は午前中医院を回診され、夕方亡くなられたそうです。88才まで現役の逝去でした。

太田崇先生は太田接骨院の院長でしたが、昨年亡くなられましたので、ご遺族を訪問して線香を上げて来ました。ご家族の話では午前中接骨院で仕事をして、午後脳いっ血を起こされ、5日後83才で逝去されたとのこと、綺麗な顔のままだったそうです。

甲田光雄先生は、死を迎える直前、ご縁のあった方々への感謝の言葉をご子息に語られ、大自然のように死んでいきたいという願いどおりにいかれたそうです。享年84才。

西式の指導者の方々は、内臓の病気は無いみたいで、現役のまま亡くなられるようです。

あ と が き

渡辺先生の著書に「現代病への挑戦」、「医薬のいない治療法」、「難病治療の実際」等があり、癌を始め不妊症、難聴等多種多様な治験例が載っています。ついでと云っては何ですが、安らかな、人間らしい最後を迎える権利を求める、終末期医療の自己決定権の確立を目指している日本尊厳死協会をご紹介します。九州支部の電話番号は(092)724-6008です。